



平成 29 年 8 月 1 日

報道各位

日本最大級のアワード
「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」
クリエイティブイノベーション部門
最終公開プレゼンテーション審査会に進出する 5 チームが決定！

～9 月 11 日（月）Yahoo! JAPAN のオープンコラボレーションスペース「LODGE」にて開催～

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称：ACC、東京都港区、理事長：高田 坦史）は、「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」に今年創設されたクリエイティブイノベーション部門の二次審査会を 7 月 25 日（火）に実施し、最終公開プレゼンテーション審査会（以下、最終審査会）に進出する 5 チームを選出しました。

■最終審査会進出チーム詳細：http://www.acc-awards.com/festival/2017fes_result/ci.html

クリエイティブイノベーション部門は、2016 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日の期間に上市または社会実装された「プロダクト&サービス」および、同期間に生み出された「プロトタイプ」を対象とした部門で、「ビッグ・アイデア×テクノロジー」を審査基準としています。部門創立初年度の今年は、6 月 1 日（木）～7 月 6 日（木）にかけて作品を募集し、109 本の応募がありました。

最終審査会は、9 月 11 日（月）14 時 30 分より、Yahoo! JAPAN のオープンコラボレーションスペース「LODGE（ロッジ）」にて開催。5 チームによるプレゼンテーションおよび、質疑応答による審査を経て、総務大臣賞／ACC グランプリ、ACC ゴールド、ACC シルバー、ACC ブロンズの各賞を決定、表彰式を行います。また、ACC ファイナリストを含めたクリエイティブイノベーション部門の全入賞作品は、9 月 12 日（火）に ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 特設サイトにて掲出します。

なお、同部門の審査は、東京大学教授でソニーコンピュータサイエンス研究所副所長の暦本純一審査委員長をはじめ、タレント／クリエイターの池澤あやか氏、ヤフー株式会社 CSO（チーフストラテジーオフィサー）安宅和人氏など、総勢 12 名からなる多彩な顔ぶれの審査委員が務めています。

■暦本審査委員長メッセージ：

http://www.acc-awards.com/festival/2017fes_result/ci.html#message

■審査委員紹介：<http://www.acc-awards.com/juries/ci/>

最終審査会進出チームおよび審査委員長メッセージ、取材のお申込方法など詳細は下記の通りです。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F TEL：03-

3500-3261 FAX：03-3500-3263 URL：www.acc-cm.or.jp

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 担当：平川美穂

「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」

クリエイティブイノベーション部門 最終審査会進出 5 チーム 一覧

※掲載は作品番号順

■作品番号：CI171914

タイトル：COGY Wheelchair

応募団体：TESS／東北大学／M2 デザイン／
TBWA\HAKUHODO

URL : <http://cogycogy.com/>



■作品番号：CI172287

タイトル：服づくり 4.0 「WE ARE」

応募団体：シタテル

URL : <https://sitateru.com/weare/>



■作品番号：CI172344

タイトル：MetaLimbs

応募団体：慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科／
東京大学 先端科学技術研究センター

URL : <http://embodiedmedia.org/project/metallimbs/>



■作品番号：CI172564

タイトル：ELI

応募団体：博報堂／ワン・トゥー・テン・ホールディングス／
博報堂プロダクツ／AOI Pro.

URL : <http://eli-talk.com/>



■作品番号：CI172641

タイトル：toio

応募団体：ソニー

URL : <https://first-flight.sony.com/pj/toio>



以上 5 チームが、最終審査会進出となります。

作品の詳細は、下記「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにてご確認ください。

http://www.acc-awards.com/festival/2017fes_result/ci.html

ACC クリエイティブイノベーション部門
審査委員長メッセージおよび、審査委員紹介

■審査委員長

暦本純一（東京大学 教授／ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長）



【審査委員長メッセージ】

■二次審査の感想

第1回目ということで、「イノベーションとは何か」、「この賞は何を評価するか」という議論がありました。イノベーションの賞なので、一つは「新規性」新しいかどうか、次に「有効性」役に立つかどうか。あとはそれが社会に根付くか、未来を創れるようなポテンシャルを持っているか、というところを主に審査させて頂きました。我々の予測を超える、非常に多様な、そして多数のエントリーがあり、レベルの高い審査が出来たと感じています。

■最終審査進出チームへの応援メッセージ

未来をちゃんと作れるようなものなのか、をみんなに分かるように説明して頂きたい。最終審査会を通じて、描く夢を共有したいと思っています。あとは、ソリッドなイノベーション、テクノロジーがちゃんとあるという部分をきちんと伝えて頂けたらと思います。

■審査委員

安宅 和人（ヤフー／CSO（チーフストラテジーオフィサー））

池澤 あやか（タレント／クリエイター）

稲田 雅彦（カブク／代表取締役 CEO）

井上 裕太（\QUANTUM／Startup Studio 事業責任者）

佐々木 紀彦（ニュースピックス／編集長、取締役）

佐々木 康晴（電通／第4CR プランニング局長、デジタル・クリエイティブ・センター長、エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター）

鈴木 雅穂（トヨタ自動車／未来プロジェクト室 室長）

野添 剛士（SIX／クリエイティブディレクター、代表取締役）

深田 昌則（パナソニック／アプライアンス社 Game Changer Catapult 代表）

朴 正義（バスキュール／代表取締役、クリエイティブディレクター）

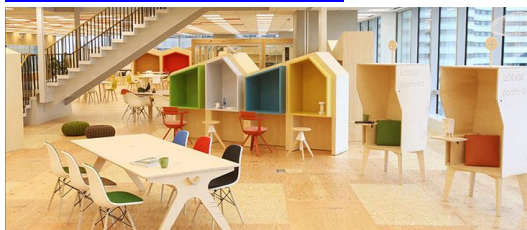
森岡 東洋志（ワン・トゥー・テン・ドライブ／CTO、テクニカルディレクター）

【最終審査会 概要】

2次審査を通過した5チームによる、「プレゼンテーション+質疑応答」での公開審査を行います。
取材をご希望の報道関係者様および、見学をご希望の一般の方につきましては、事前登録が必要となります。
お手数ですが、下記の申込フォームより事前登録をお願いします。
※事前登録は8月3日（木）12：00より受付を開始します。

■日時：9月11日（月）14：30～18：00（受付開始14：00）

■会場：ヤフー株式会社 オープンコラボレーションスペース「LODGE」
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町
<https://lodge.yahoo.co.jp/>



■入場料：無料

入館の際には、事前申込とは別に「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS イベント専用受付」での入館手続きが必要となります。

※通常のLODGE受付では承っておりませんのでご注意ください。

■定員：80名

■報道関係者の取材および、一般見学者の事前登録について
下記サイトの申込フォームにご記入の上、送信してください。

※事前登録は、8月3日（木）12：00より受付を開始します。

＜報道関係者様取材のお申込はこちら＞ <https://pro.form-mailer.jp/fms/a02e9300127058>

＜一般の方のお申し込みはこちら＞ <https://pro.form-mailer.jp/fms/a2b9f998127131>

■当日のタイムスケジュール

14：00	受付開始
14：30	プログラム開始
18：00	結果発表・表彰式終了
18：00～19：00	ネットワークミーティング

その他、本件の詳細は下記「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにてご確認ください。

http://www.acc-awards.com/festival/2017fes_result/ci.html



【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催されてきた広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく拡げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

2010 年にマーケティング・エフェクティブネス（ME）部門、2014 年にインタラクティブ部門、2017 年に、メディアクリエイティブ部門とクリエイティブイノベーション部門を創設。名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、総務大臣賞/ACC グランプリは、クリエイティブ業界で活躍する関係者の大きな目標となっています。

【ACC とは】

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟（ACC）は、よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に公益法人として設立。2013 年に一般社団法人へと移行しました。

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・放送会社の 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく活動しています。